

# シンピオシス〜共生〜

# サポ協だより

vol.18

発行：一般社団法人  
全国知的障害児者生活サポート協会  
編集：事務局長 田口 博  
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-12-14  
廣瀬ビル 4階  
TEL：03-5577-6351 FAX：03-5577-6352  
URL：<https://www.zensapo.jp/>



## 人災・天災と向き合いながら

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会 理事長 加藤 正仁



2023年もはや半年が過ぎようとしています。コロナ、コロナで明け暮れ、我々の日々の暮らしや生活は見通しの効かない感染症の拡大とヒタヒタと身近に迫り来るその猛威に個人として、組織として、社会として、国家として平常心を失いながらその不安や恐怖心に翻弄されました。今に生きる人類にとっての過ぎ越しの時をまるで息を潜めるかのように引きこもり、萎縮し、人間関係も疎遠になり、まさに経験したことのない試練の日々でした。しかし、それも四年ぶりに集団免疫の功なのか、ワクチン接種の功なのか、市民の予防対策スキルの向上なのか、多分それらの相乗効果によるものでしょうが現時点では幸いにもwithコロナ的な日常生活がほぼほぼ戻りつつあると言えます。

しかし、忘れていけないのはこの間にも、全国各地では台風・地震・火事・豪雨・地滑り・交通災害・自死・犯罪等々、様々な天災、人災に近い天災、天災に近い人災、人災などの災難が全国各地で時と場所を選ばず発生し、その結果、人的物的被害がまるで年貢を取り立てるかのように出続け、国家財政の逼迫も飛躍的に増大し、その負債総額も1,000兆円を超えるという天文学的な数字となってそのツケを後世に積み上げています。

さらには近年の最も深刻な社会現象である少子化問題です。今「異次元の少子化問題」とこの4月から開庁した「こども家庭庁」問題等でも世の中がしましく、それに輪をかけるようにこれらのことを政策課題とした地方選挙が加わっています。ある意味これらのかしましさは一蓮托生で人災的側面があるとも言えます。戦後の第一次ベビーブームで260-270万人あった出生数が先日の厚労省の発表では77万人になっています。2005年以降我が国の人口は減り続け、合計特殊出生率も今や1.26。人口維持にはこの比は2.06と言われ、やがてこの地上から日本人は消滅することになります。これらのことは少なくとも30年前に指摘され、国家存亡の危機と議論が始まっていたのに、今更、今異次元だ!と驚きまごつく様は、これを不作為、人災と言わずしてなんでありましょうか。

いづれにしても、今日の社会を揺るがしている「由々しくて腹立たしいまでの出来事の被害の多さ、大きさは社会のもっとも弱者に収斂する」という歴史的事例は多いのです。

彼ら、彼女らのかげがえのない命と日常の一層の輝きを確保するために今まで以上の思いと力を重ねた継続的、連帯的实践が求められています。Just do IT! Go ahead!

## 2023年度アールブリュット展入賞作品

2023年度は全国から367作品の応募があり、内、当会には129作品が出品されました。全国のサポート協会にて投票を行い、票数の多かった以下の3作品を入賞といたしました。※作品作者名 敬称略  
なお、当会に出品された全作品を当会ホームページ(<https://zensapo.jp/artbrut/>)でご覧になれます。



Beautiful world 荘司久寿



薔薇孔雀 大野俊壽



川魚 小島一志

# 2023年度定時社員総会報告



日時：2023年5月30日（火）12：30～16：30  
会場：大田区産業プラザPI0（東京都）コンベンションホール

2023年度定時社員総会は、午前中は曇り空だったものの午後からよい天気になりましたが、台風が接近していたため九州や四国ではかなり強い雨が降っていたようで、一部の方が遅れて参加となりました。

当日は書面評決を含めると、45サポート協会（社員）と事務局関係者、当会顧問、AIG及びJICグループから、約70名の出席となりました。

## 第1部 総会

議案審議は、2022年度事業報告・決算、新たな理事の選任、「生活サポート総合補償制度」の対象拡大等について審議し、承認されました。また、2022年度で理事及び監事が任期満了となるため、近畿・中国・四国ブロックの分割や理事退任に伴い、新しい理事として5名の方が選任されました。報告事項では、2023年度事業計画・予算等について報告いたしました。詳細は、当会ホームページにも掲載しております。

## 臨時理事会

総会で理事・監事を承認後、臨時理事会を開催し、理事長・副理事長を選任しました。2023年度より副理事長は新しく2名を加え、5名体制となります。

### ● 感謝状贈呈

当会の充実及び発展のために多年にわたり役員をお務め賜った6名に感謝状を贈呈いたしました。副賞は、指定の送付先に送付しております。なお、2023年度の事務局員感謝状対象者は7名おりますが、ブロック会議で授与ということになっております。

## 第2部 研修会

全国特別支援教育推進連盟 前理事長、東洋大学名誉教授 宮崎 英憲 氏をお招きし、「特別支援学校について ～知的障害特別支援学校の学校生活の様子・教育課程・内容等を中心にして～」と題し、講演を行っていただきました。講演は「わかりやすかった」「資料に動画などもあり、たいへんよかった」と参加者に大変好評でした。



研修会講師 宮崎 英憲 氏

2022年度収支計算書  
2022年4月1日から2023年3月31日まで

運営の部		収入		支出	
大科目	中科目	決算額	予算額	予算額	額減
運営費収入		31,497,900	31,790,100		△ 292,200
入会費	812,400	930,000			△ 117,600
年会費	30,685,500	30,860,100			△ 174,600
雑収入	39	1,000			△ 961
前期繰越金	13,935,628	13,935,628			0
合計	45,433,567	45,726,728			△ 293,161
事業費		10,933,151	16,753,000		△ 5,819,849
運営費返金	19,700	23,000			△ 3,300
助成及び支援金	4,897,709	6,820,000			△ 782,391
監査委託費	1,453,371	2,900,000			△ 1,446,629
当会事業費	3,423,417	4,600,000			△ 89,420
MVP委員会	295,063	1,000,000			△ 704,937
支払手数料	843,891	1,410,000			△ 566,109
管理費	17,702,067	21,218,000			△ 3,515,933
人件費等	5,926,503	6,089,000			△ 162,497
会議費	3,144,993	5,700,000			△ 2,555,007
旅費交通費	588,430	1,200,000			△ 1,101,000
事務所維持費	5,059,250	5,113,000			△ 53,750
印刷製本費	1,265,061	1,286,000			△ 47,936
その他	1,717,830	1,830,000			△ 112,170
予備費	4,600,000	5,000,000			△ 4,937,212
繰越金	12,198,349				4,657,184
次期繰越金	42,663,236				△ 307,764
合計			42,971,000		

保険料の部		決算額	
大科目	中科目	決算額	額減
預り保険料		2,997,561,250	

2023年度収支予算書  
2023年4月1日から2024年3月31日まで

運営の部		収入		支出	
大科目	中科目	2023年度予算額	摘要	2023年度予算額	摘要
運営費収入		31,509,400		19,168,000	
入会費	15,000	300円×50人=15,000		23,000	役員・二重払込等による入会金及び年会費の返金
年会費	31,494,400	200円×156,944=31,388,800 100円×1,056人=105,600		6,845,000	小規模サポート協会支援金、ブロック活動費補助金
雑収入	1,000	利息		3,000,000	広報誌発行助成金、生涯学習助成金
繰越金	12,198,349	2022年度繰越金		3,000,000	広報誌、HP維持等
合計		49,708,749		8,500,000	総務会費、弁護士委託費、カレンダー作成・印刷事業費等
事業費		19,168,000		1,000,000	委員会旅費等
運営費返金	23,000			1,000,000	支払手数料等
助成及び支援金	6,845,000			21,499,000	
監査委託費	3,000,000			人件費等	職員給与、社会保険、福利厚生等
当会事業費	8,500,000			5,700,000	総会、理事会、三役会等
MVP委員会	1,000,000			1,200,000	ブロック会議旅費
支払手数料	1,000,000			4,981,000	経費料、光熱費、通信費、リース料、消耗品費等
管理費	21,499,000			1,550,000	広報誌作成費
人件費等	6,238,000			1,830,000	情報公開、会員管理費、顧問料、渉外費等
会議費	5,700,000			4,041,749	雑費等
旅費交通費	1,200,000			49,708,749	
事務所維持費	4,981,000				
印刷製本費	1,550,000				
その他	1,830,000				
予備費	4,041,749				
合計					

保険料の部		2023年度予算額	
大科目	中科目	2023年度予算額	摘要
預り保険料		3,055,469,900	2023年度会員数 159,000人

## 2023年度～2024年度役員

	ブロック等	サポート協会名等	氏名
理事	北海道	北海道	畑中 三枝子
	東北	岩手県	鎌田 信也
		宮城県	伊藤 公義
	関東甲越	東京都	加藤 正仁
		ハンス	片桐 寛嗣
	中部	愛知県	川崎 純夫
		福井県	川端 幸代
	近畿	大阪	安本 伊佐子
		兵庫県	小原 冷子
	中国・四国	山口県	楳本 利光
愛媛県		丹生谷 孝之	

	ブロック等	サポート協会名等	氏名
理事	九州	ひのくに	栗崎 英雄
		さくらじま	水流 純大
理事長推薦	埼玉県		長岡 均
			黒田 聡
監事		事務局長	市川 高弘
			田口 博
顧問	法律の指導助言	江崎税理士事務所	江崎 寛
		東京都	藤田 道
補償制度アドバイザー	木下 木石法律事務所		大石 剛一郎
		江崎税理士事務所	江崎 寛
	(株)ジェイアイシー		中山 雅寛

## 新副理事長 ごあいさつ

2023年度より新たに副理事長2名を当会新三役としてお迎えすることになりました。



新副理事長 川崎 純夫（一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会 理事長）

この度、副理事長の大役を仰せつかりました、愛知県知的障害児者生活サポート協会の川崎でございます。障害のある方が豊かに生活するには、安心した生活の保障と趣味等の余暇が重要だと考えます。生活サポート総合補償制度は、主催事業と保険制度を併せ持った他にはない素晴らしい制度だと思います。今後もAIG様、JIC様、サポート協会の三者が力を合わせ、障害のある方が楽しく生きがいのある地域生活が送れるよう微力ながら寄与する所存ですので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新副理事長 水流 純大（さくらじま知的障害児者生活サポート協会 理事長）

5月30日の理事会で副理事長に選任されました鹿児島県・さくらじまサポート協会の水流純大（つる すみひろ）です。私は、前身のさくらじま互助会がさくらじまサポート協会に衣替えし、2007年10月に全国サポート協会に加入した際に事務局長を務めており、以来、約16年間サポート協会と関わってきました。

サポート協会が提供している生活サポート総合補償制度は、障害のある方々が安全・安心な暮らしを実現するうえでなくてはならないとても大切な制度です。浅学非才の身ではありますが、サポート協会の持続的な発展のために微力を尽くして参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 生活サポート総合補償制度「病氣予防&事故防止」冊子利用 無料オンライン講座のご案内

2022年度に実施し大変好評だった、冊子「病氣予防&事故防止」を利用したオンラインセミナーを(株)ジェイアイシーの協力で2023年度も開催いたします。会員、非会員を問わず、どなたでも参加可能となっております。参加希望者には「病氣予防&事故防止」冊子を無料で配布いたします。日程は以下のとおりです。詳細は、当会ホームページ「お知らせ」(<https://zensapo.jp/>)をご覧ください。

第1回 2023年 8月22日（火）（生配信） 定員150名

第2回 2023年11月15日（水）（録画配信）定員150名

第3回 2024年 1月18日（木）（ " ）定員150名



「生活サポート総合補償制度」の担当保険代理店である(株)ジェイアイシーでは、さまざまな障害者向けのオンラインセミナーを行っております。詳細は、(株)ジェイアイシーのセミナー専用ホームページ ([https://www.jicgroup.co.jp/seminar\\_list/](https://www.jicgroup.co.jp/seminar_list/) 右QRコード) をご覧ください。



## 全国知的障害児者生活サポート協会 会員様向け 税金・法律・年金 無料電話相談を開始します

2023年7月より一般社団法人全国知的障害児者生活サポート協会会員様（生活サポート総合補償制度ご利用の皆様）向けに税金（税理士）・法律（弁護士）・年金（社会保険労務士）の先生方による日時指定の予約制無料電話相談を開始いたします。詳細は当会相談事業専用ホームページ (<https://zensapo.jp/consultation/>) または、相談事業専用フリーダイヤル（0120-55-7701）までお問合せください。

注意

- ※1 相談内容によってはお受けできない場合もあります。
- ※2 予約電話は、月～金9:00～17:00までとなります。
- ※3 ご相談、お問合せの際、加入者証をご用意いただくとスムーズです。

## サポート協会事業紹介

## 「知的障害者で認知症を罹患した人、又はその疑いのある人の行動・心理症状(BPSD)について、その行動背景要因をチェックし具体的な支援を考える」研修会 開催

ひのくに知的障害児者生活サポート協会 山本 良



令和5年3月4日(土)、熊本県内外から85名の参加の下「知的障害者で認知症を罹患した人、又はその疑いのある人の行動・心理症状(BPSD)について、その行動背景要因をチェックし具体的な支援を考える」をテーマに、熊本市で職員・家族対象に研修会を行いました。新型コロナウイルス感染症の拡大が幾分落ち着いてはいたものの、対策を取りながらの対面開催でした。

講演Iとして、厚生労働省の障害福祉専門官松崎貴之氏により「高齢障害者への支援」というテーマで、障害者総合支援法の改正に触

れながら、国の高齢障害者施策について講義がなされました。

講演IIでは、ビデオでの参加でしたが、東北大学医学系研究科精神看護学分野准教授で、東京都医学研究所で開発されたDEMBASE<sup>※1</sup>の中心メンバーであった中西三春氏により「認知症に罹患した人に起こるBPSD<sup>※2</sup>等に対して、DEMBASEの支援プログラムを活用したときのメリット、デメリットと支援効果」についての話があり、行動心理症状の捉え方、その評価と具体的なケアの手法が説明され、支援員の対応力の重要性が話されました。

講演IIIとして、旭川荘の特別研究部門の研究員である桑野良三ドクターから「知的障害者の認知症診断基準」というテーマで話があり、DSQIID<sup>※3</sup>に触れながらアルツハイマー症とダウン症候群、生活習慣と認知症、ダイバーシティへの対応の必要性等が話されました。

講演IVでは、国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究部研究科研究係村岡美幸氏により、「知的障害者認知症ケアプログラムと活用事例」というテーマで実践事例を紹介しながら、実施上のポイントについて講演がなされ、認知症かなと思って利用者の行動変化に気付くツールとしてのDSQIIDの活用、プログラム作成時のICF<sup>※4</sup>の考え方の重要性等、現場に立った話がなされました。

講演Vでは、莫設計同人の松村正希氏より「知的障害で認知症を発症した人また行動障害者に対する環境・暮らしについて」というタイトルで話があり、物理的構造化、視覚的構造化について一級建築士の立場から、貴重な話がありました。

最後にパネルディスカッションを「知的障害者のケアプログラムを実施して～有用性及びその感想・今後について～」というテーマで行い、NPI-NH<sup>※5</sup>を活用したケアプログラムを試行的に行った長崎県の普賢学園、新潟県の緑風園、熊本県の第二つつじヶ丘学園よりその結果と有用性について報告があり、国立のぞみの園の村岡美幸研究員より、今後のNPI-NHを使った尺度に基づく支援プログラムの作成についての、アドミニストレーター研修の重要性についての話があり、5年度の目指す方向性等が示されました。



※1. DEMBASE 日本版BPSDケアプログラム

※2. BPSD 認知症の周辺症状

※3. DSQIID 知的障害者用認知症判別尺度

※4. ICF 国際生活機能分類

※5. NPI-NH 施設入所中の利用者のBPSDの頻度及び介護者負担度を  
数量化できる神経心理検査

## 編集後記

3ページで紹介しているとおり、どなたでも参加できるオンラインセミナーや会員様向けの無料電話相談事業を行います。皆様のご利用をお待ちしております。